デジタルアーカイブ事業の現状と課題

ー科学技術情報の流通・蓄積の視点からー

国立国会図書館
総務部企画課電子情報企画室
平成19年9月26日

当館の電子図書館・デジタルアーカイブ事業の流れ

平成10年度～平成13年度

国立国会図書館電子図書館構想

電子図書館サービス実施基本計画

平成14年度～平成18年度

〈一次情報〉

・国会会議録、帝国議会会議録

・貴重書画像データベース

・電子展示会

・近代デジタルライブラリー

・WARP

・児童書デジタルライブラリー

国立国会図書館電子図書館中期計画２００４

平成19年度～平成20年度

NDLデジタルアーカイブポータル運用

NDLデジタルアーカイブシステム運用

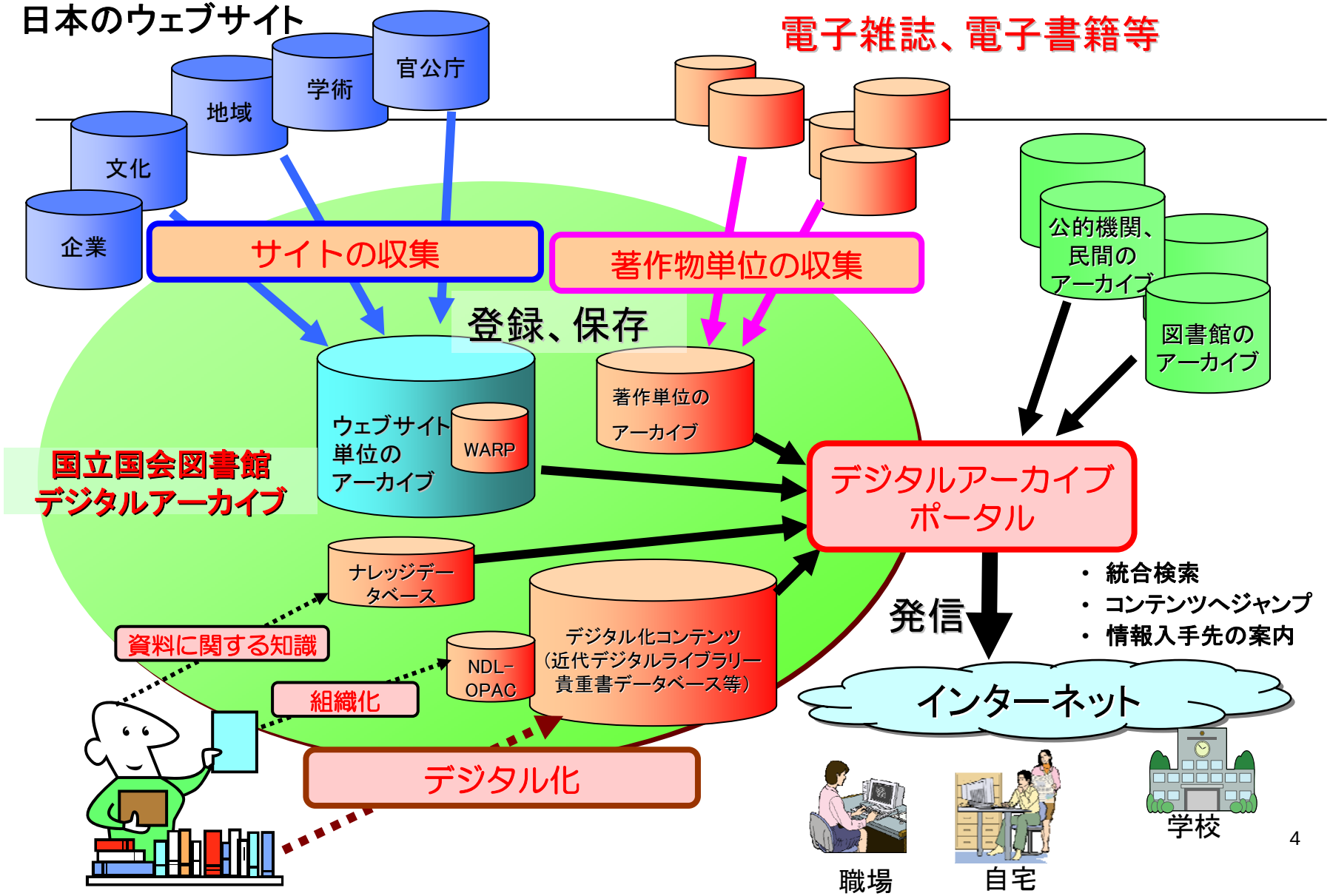
平成21年度～

電子図書館事業の目標

（国立国会図書館電子図書館中期計画2004）

- デジタルアーカイブの構築
  - 所蔵資料のデジタル化
  - インターネット情報の収集
- 情報資源に関する情報の充実
  - ナレッジ提供サービス
  - 電子展示会の実施
- デジタル・アーカイブのポータル機能
  - コンテンツへのワンストップサービス

国立国会図書館の「電子図書館サービス」の目標イメージ



「NDLデジタルアーカイブシステム」の構築

- 目的
  - デジタル情報の長期的保存・利用の保証（OAIS準拠）
  - NDLの電子コンテンツ蓄積・提供システムの統合
- 対象コンテンツ
  - インターネット情報（ネットワーク系電子出版物）
  - 当館所蔵資料のデジタル化コンテンツ
  - 当館所蔵パッケージ系電子出版物
- スケジュール
  - 平成17年度開発に着手、平成21年度運用開始予定

現在の進捗状況

- 収集方針
  - 今年度中に「インターネット情報（ネットワーク系電子出版物）」の収集方針を策定
- メタデータスキーマの設計
  - 長期保存のためのデジタルアーカイブシステムメタデータ基準を作成・公表
- 所蔵資料のデジタル化方針
  - 保存対策の観点を含めた「資料デジタル化基本計画」を策定、資料マイクロ化計画とあわせた「メディア変換実施計画」を検討中
- 法制度化の検討
  - 平成21年度以降の法制度化を視野に入れ、諸条件を検討中

「インターネット情報（ネットワーク系電子出版物）」収集の方向性

- 日本国内のネットワーク系電子出版物を対象
- 「サイト単位」及び「著作物単位」での収集を想定
- 「ウェブアーカイブ」（サイト単位収集）
  - 公的機関、学術調査研究機関のサイトの収集を優先、次に消失の危険性が高くかつ長期保存の必要性が高い各主題のサイトを収集
- 「デジタル・デポジット」（著作物単位収集）
  - 公的機関、学術調査研究機関の著作物（年報、機関誌、報告書、統計、紀要等）、公益法人、学協会等の著作物で学術的価値の高いもの
- 今後収集を検討する対象（諸条件の調整が必要）
  - 学位論文、機関リポジトリーのコンテンツ、外国電子ジャーナル及び電子書籍、民間出版社等の有償コンテンツ（特に学術系、文芸作品等）

科学技術情報流通・蓄積の観点からの論点

- **当館が収集・保存すべきデジタルコンテンツの範囲及び優先順位**
  - 学位論文、機関リポジトリの個人論文等どこまでを収集対象とするか
  - 「サイト単位」と「著作物単位」による収集の切り分けは適切か
  - 外国電子ジャーナル保存の優先度、方法（日本人著者を優先するか等）
- **関連機関との役割（機能）分担のあり方**
  - 収集・保存面で、当館は「長期保存」を軸にした役割を想定
  - 当館の利用提供の形態（館内閲覧、複写、公衆送信）、「有償」コンテンツの扱い
  - 既提供機関（NII、JST、学協会、大学等）との（提供面での）機能重複の懸念
  - 標準化の適用・普及の課題（メタデータ、ファイル形式）
  - その他、当館に期待される役割（データベースの保存、研究情報の収集等）
- **著作権処理（権利許諾）の円滑化**
  - 収集（複製）時の許諾、利用提供（公衆送信等）の許諾
  - 一括許諾等の可能性、法制化による対応

付録：NDLの主要関連コンテンツの現状

- **WARP（インターネット情報選択的蓄積事業）**

（1）電子雑誌の収集

平成19年8月末現在　約1500件　そのうち科学技術分野　約600件

（2）サイトの収集

平成19年8月末現在　約2000件　そのうち科学技術分野　約40件

- **近代デジタルライブラリー**

平成19年8月現在　約9万7000タイトル（科学技術分野　約2万1000タイトル）、約14万3000冊

- **所蔵パッケージ系電子出版物（光ディスク、磁気ディスク等）**

平成19年3月現在　約6万6000点（外国刊行資料含む。ただし、録音・映像資料を除く。）

- **導入電子ジャーナル・抄録索引DB**

（1）電子ジャーナル　（ScienceDirect、OCLC ECO、中国学術雑誌全文DBなど）

平成19年8月現在　約32,000タイトル（うち科学技術関係14,000タイトル）

（2）抄録・索引DB　（Web of Science、CSA Discovery Service、JDream Ⅱ など）